



● 峡南JC

峡南JC - 山梨県 -

時代の变化に参加し、
社会への責任をもつ。気概を胸に、
地元山梨で活動しています



現役メンバーと一緒に鏡開きをした新年互礼会の様子。

町(その町の近隣町も含む)となりその活動エリアは拡がりました。以後市町村

合併によりその枠組みは変わってきているところです。私たちの住む峡南地域は、富士川を中心として栄えた長い歴史があり、大河故に、左岸、右岸の交流に妨げがあった部分もあります。今後の峡南地域のまちづくりを考えた時、川を中心に峡南地域全体を一つの行政区域のような捉え方の必要性を感じ、10周年を契機として『川の都宣言』を採択しました。一行政区域にとどまらない活動は、それぞれの地域の中で密着した事業展開がなされ、地域の未来を築く確かな一歩を、その時々踏み出してきたことを確信するところでございます。しかし、地域の現状が少子高齢化や若者たちの多様な考え方、さらには経済不況等により現役メンバーの減少が進んでいることは大きな課題となっております。

川の都宣言

大いなる自然との共生の中で、それぞれの地域が手をつなぎ、川とともに栄えてきた、すべての流れが、この地に集い、大河となる峡南を「川の都」と宣言し、英知と勇気とたゆまぬ情熱によって、贅り高い文化の創造と、人のぬくもりを基調とした、地域づくりに邁進することを誓う。

富士川を中心とした峡南地域の発展を誓う『川の都宣言』。

激動する時代の中、一人間が、単なる傍観者でいるのではなく、この時代が変化していく中で歴史に参加し目撃者となり、この地域のために「より明るく豊かな社会」「より住みよい地域社会」を創りだすことを目的とした青年会議所活動に責任感を持ってその力を結集することは意義深いものであると確信し、1983年3月27日に創立された青年会議所です。711番目の峡南青年会議所は、広域青年会議所として3町をテリトリーとしてスタートし、後に6町に拡大、さらには8町(その町の近隣町も含む)となりその活動エリアは拡がりました。以後市町村合併によりその枠組みは変わってきているところです。私たちの住む峡南地域は、富士川を中心として栄えた長い歴史があり、大河故に、左岸、右岸の交流に妨げがあった部分もあります。今後の峡南地域のまちづくりを考えた時、川を中心に峡南地域全体を一つの行政区域のような捉え方の必要性を感じ、10周年を契機として『川の都宣言』を採択しました。一行政区域にとどまらない活動は、それぞれの地域の中で密着した事業展開がなされ、地域の未来を築く確かな一歩を、その時々踏み出してきたことを確信するところでございます。しかし、地域の現状が少子高齢化や若者たちの多様な考え方、さらには経済不況等により現役メンバーの減少が進んでいることは大きな課題となっております。

ク全体の特性と言いましようか、非常にシニア間の繋がりが充実しており、昨年は、我がシニアクラブが12年ぶりの主管にて2008年度オール山梨JCシニアクラブ会員大会が200名を超える参加者をいただき開催いたしました。久々に会う先輩や後輩、そんな仲間たちと大会の準備を定期的に進めました。大会直前には、シニアクラブメンバーの家族も含めてバーベキュー大会を現役参加も

いたたく中盛会に開催し、現役当時は振り返りながら、また、現役との交流を図りながら楽しく有意義な時間を共有することができました。また、その期を捉え、皆が、当青年会議所の活性化をも確認できる場となりました。今後現役に対し、峡南青年会議所シニアクラブの特性であります、「金は出しても口は出さない」と言う方針を守りつつ、現役メンバーを応援し、自らも、更なる明るく豊かな地域社会を創りだす一人として邁進していく所存です。

峡南JCシニアクラブ
会長 中沢良夫
日本JCシニアクラブ
山梨ブロック担当幹事
依田茂己